

第４期米沢市観光振興計画（案）に係るパブリック・コメントの実施結果と市の考え方について

「第４期米沢市観光振興計画」を策定するにあたり、パブリック・コメントを実施しました。つきましては、その結果と提出されたご意見に対する市の考え方を公表します。なお、ご提出いただいたご意見等は、趣旨を損なわない程度で要約させていただいております。

１ 集計結果等

(1) 意見募集期間

令和３年９月１日（水）～ 令和３年９月２１日（火）

(2) 提出方法、提出人数及び意見の数

提出方法	提出人数（人）	意見の件数（件）
持参	1	1
郵送		
ファックス		
電子メール	1	1
電子申請		
計	2	2

2 市民意見の概要と市の考え方

番号	章・施策	頁	意見の主な内容	市の考え方	修正の有無
1	第4章 基本方針1 基本施策1-1	38	アフターコロナに注目されるのは、戦国期伊達本城の舘山城、小野川町天狗山館、成島八幡、塩路平館、笹野山館などのアウトドア系の観光資源ではないか。天狗山には小野川温泉、成島八幡には成島焼、塩路平には道の駅田沢、笹野山館には笹野観音、笹野の一刀彫りがあり、いずれも伊達時代の主要城館遺跡であって、現在の観光スポットと併存しており、さらには、舘山城や天狗山館を中心に福島、会津の城館遺跡、岩出山館、仙台の青葉城など東北の広域城館遺跡巡りの拠点基地としての観光振興が期待できるのではないかと考えるがどうか。	舘山城などの城館遺跡についても、本市における歴史観光の大事なコンテンツの一つと考えております。さらに今後、専門の方による調査が進められていく中で、新たな観光素材になりうるものと考えておりますので、基本施策1-1「歴史・文化を活かす」に包含し、城館遺跡を活用した取組について検討をまいります。	無

番号	章・施策	頁	意見の主な内容	市の考え方	修正の有無
2	第4章 基本方針7 基本施策7-3	73	アフターコロナは、旅の仕方も好みも大きく変化していくことが想定される。近年は SDGs がトレンドとなっており、観光についても持続可能な観光であるサステナブルツーリズムが求められている。 その流れが示すように、岩手県釜石市が「世界の持続可能な観光地 100 選」に選定され、大きな注目を集めているほか、観光庁では昨年、地方自治体や観光 DMO が持続可能な観光地マネジメントができるよう「日本版持続可能なガイドライン (JSTS-D)」を発表している。 そこで、今後の米沢市の観光を進めていく上でも「日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)」を遵守し、持続可能な観光を目指していくことを、第4期計画内に盛り込んでいく必要があると思うがどうか。	本計画 p33 計画策定にあたって (17 行目) 及び p73 基本施策 7-3 「(仮称)米沢市版 DMO の設立」の施策の方向 (3 行目) に、次の文章を追記いたします。 【追記後】 (p33-17 行目) 取り組んでいくとともに、「<u>日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)</u>」等を遵守し、<u>持続可能な観光を推進していきます。</u> (p73-3 行目) 「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの取組を進めます。<u>また、社会経済、文化及び環境の側面からバランスの取れた観光地づくりを進めるため、観光庁が開発した「日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)」等を活用して持続可能な観光地マネジメントに取り組めます。</u>	有